



▲7月20日の舞鶴若狭自動車道の全線開通に合わせリニューアルオープンした若狭歴史博物館（遠敷二丁目・7月18日）



▲伝統の「六斎念仏」。男衆や子どもたち20人が踊り念仏で奥窪谷の24戸をまわった（西相生・8月13日）



▲小浜水産高校の実習船だった「雲龍丸」の乗船体験航海に16組46人の親子が参加（小浜湾・8月3日）



▲「大笑い七福神まつり」の最後を飾る七福神大笑い音頭パレードに約100人が参加（はまかぜ通り商店街・7月26日）



▲若狭塗箸を広くPRする恒例の箸まつりで、持参した使い古した箸を燃やし供養する親子連れ（箸のふるさと館・8月4日）



▲市民らで作る健康づくり杉田玄白・中川淳庵推進会が菓草茶「解体新茶」を開発・販売（市庁舎・7月31日）

7/25 市民と海をつなぐ拠点



鯉川シーサイドパークに日本財団がコミュニティネットワークふくいと協働で建設した「渚の交番」が完成しました。この施設は、障がい者などへ就労機会を提供し、海辺の環境保全活動などを行う、全国初の海洋型福祉拠点で、年間を通しての売店の運営やイベントの開催を予定しています。渚の交番の設置は全国で3例目です。

7/17 来年秋に小浜で全国大会



働く婦人の家（大手町）で、全国街道交流会議第10回全国大会「若狭路大会」実行委員会設立総会が開催されました。この会議には、街道をテーマに交流や連携を進め、地域づくりにつなげようと、全国69の自治体などが参加。鯖街道などを有する小浜では、来年秋に、2日間にわたって全国大会が開催される予定です。

7/20 若狭さとうみハイウェイ全線開通



舞鶴若狭自動車道小浜IC～敦賀JCT間（約39km）が開通し、吉川JCT（兵庫県三木市）～敦賀JCT（約162km）が全線開通しました。中日本、西日本両高速道路株式会社によると、全線開通の翌日から一週間の小浜IC～敦賀JCT間の1日あたりの利用台数は約9600台、小浜西IC～小浜IC間の1日あたりの利用台数は約23倍増加しました。

7/22 舞若道を生かして 新たな交流



ブルーパーク阿納（阿納）で、本市と勝山市の都市間交流事業が行われました。両市は、舞鶴若狭自動車道が全線開通し、時間的距離が近くなったことをきっかけに、交流を開始。交流事業の第一弾として、勝山市内の児童21人が同施設を訪れ、内外海小学校6年生の児童15人と一緒に魚釣りや海水浴などを体験しました。